

2007年3月期 中間決算説明会

2007年3月期中間決算概要



2006年11月2日

日本ユニシス株式会社

代表取締役常務執行役員

白鳥 恵治

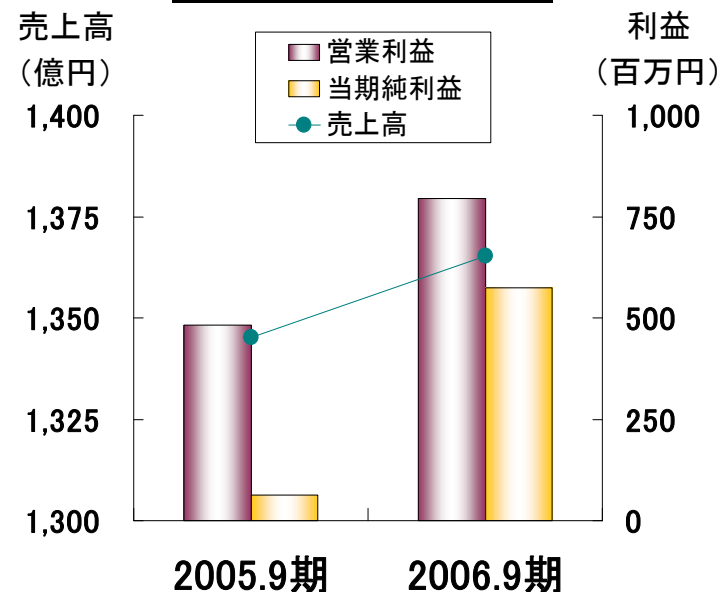
連結決算ハイライト

2006.9期 決算

(百万円)

	2005.9期	2006.9期
売上高	134,528	136,526
営業利益	483	795
経常利益	475	1,116
中間純利益	64	574
受注高	142,496	140,178

売上高・利益 推移



- 売上高は、システムサービスの売上増加が牽引し、前年同期比、20億円(1.5%)増加
- 利益面に関しては、効率的な販管費の削減が寄与し、営業利益は前年同期比、3.1億円(64.6%)増加
- 受注高は、前年同期にハードウェア賃貸の大口案件があった反動により減少となったが、この要因を除くと前年同期比、7.9%増加

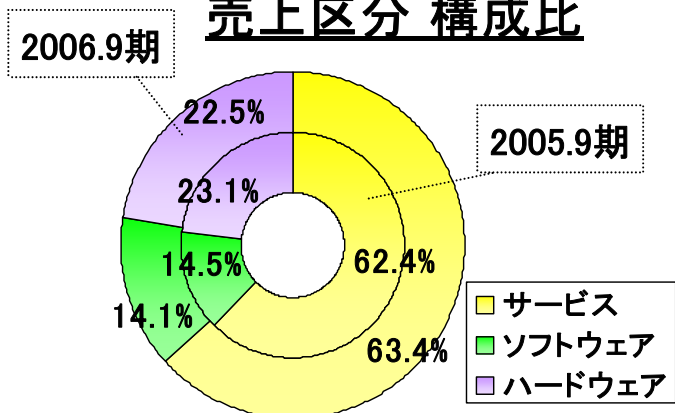
売上高の状況

売上区分別 売上高

(百万円)

売上区分	2005.9期	2006.9期	増減額	増減率
サービス	83,983	86,608	+2,625	+3.1%
システムサービス	36,136	37,761	+1,625	+4.5%
サポートサービス	28,088	28,204	+115	+0.4%
アウトソーシング	12,043	12,169	+125	+1.0%
その他サービス	7,713	8,473	+759	+9.8%
ソフトウェア	19,441	19,185	▲255	▲1.3%
ハードウェア	31,104	30,732	▲371	▲1.2%
販売	24,206	24,320	+114	+0.5%
賃貸	6,897	6,411	▲486	▲7.0%
合計	134,528	136,526	+1,998	+1.5%

売上区分 構成比



マーケット別売上

(億円)

マーケット	2005.9期	2006.9期	増減率
金融機関	413	372	▲9.8%
官公庁	137	154	+12.5%
製造工業	254	255	+0.5%
商業・流通	143	147	+2.6%
電力・サービス他	399	437	+9.7%

損益の状況

利益区分別 損益

(百万円)

利益区分	2005.9期	2006.9期	増減額	増減率
売上総利益	30,322	27,257	▲3,064	▲10.1%
販管費	29,839	26,462	▲3,377	▲11.3%
営業利益	483	795	+312	+64.6%
経常利益	475	1,116	+641	+134.9%
特別損益	▲127	▲254	▲127	
中間純利益	64	574	+509	+793.0%

売上総利益比較

(商標使用料等外枠ベース)

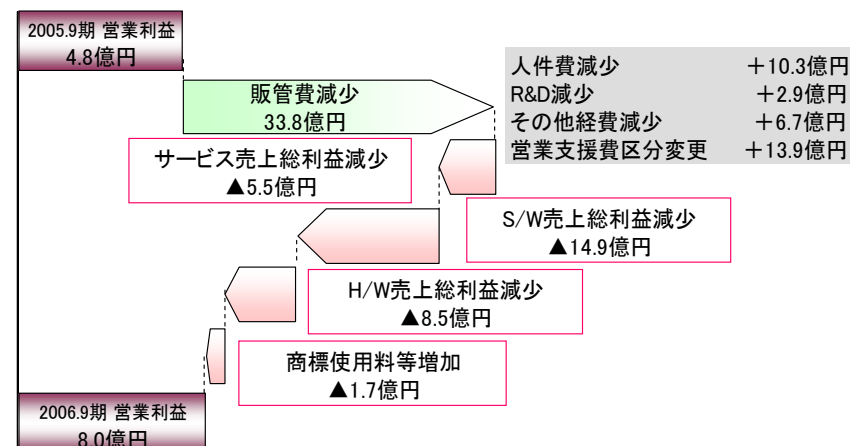
(百万円)

売上区分	2005.9期	2006.9期	増減額
サービス	22,451	21,905	▲545
ソフトウェア	6,488	4,993	▲1,494
ハードウェア	8,727	7,874	▲853
商標使用料等	▲7,345	▲7,516	▲171
合計	30,322	27,257	▲3,064

※商標使用料等にはサポート・フィー

2005.9期: ▲1,119百万円、2006.9期: ▲1,149百万円を含む

2006.9期 営業利益分解



キャッシュ・フロー、バランスシート of 状況

▶ キャッシュ・フローの状況

	(百万円)		
	2005.9期	2006.9期	増減額
営業キャッシュ・フロー	3,248	▲5,735	▲8,983
投資キャッシュ・フロー	▲7,808	▲19,511	▲11,703
フリー・キャッシュ・フロー	▲4,560	▲25,247	▲20,686
財務キャッシュ・フロー	3,610	21,320	+17,710
現金及び現金同等物残高	25,034	26,901	+1,866

▶ バランスシートの状況

	(百万円)		
	2005.9期	2006.9期	増減額
総資産	234,063	234,438	+375
負債	136,788	150,665	+13,877
純資産 ※2005.9期 資本合計+少数株主持分	97,274	83,772	▲13,502
有利子負債 (純有利子負債)	44,561 (19,527)	83,435 (56,534)	+38,874 (+37,007)

増減額の主な内容

- 営業キャッシュ・フロー
 - ・ 商標権等使用料、およびサポートフィー支払
(2006.3期は下期に支払)
- 投資キャッシュ・フロー
 - ・ アウトソーシングビジネスにおける先行投資の増加
 - ・ 投資有価証券の増加
- 純資産
 - ・ 自己株式取得(2006年3月取得)により減少
- 有利子負債
 - ・ 上記理由によるフリー・キャッシュ・フローカバーの為、CP、短期借入金、および長期借入金の増加
(2006.3期比:+182億円)

2007年3月期 連結業績見通し

2007.3期 業績見通し

(百万円)

	2006.3期	2007.3期予	増減額	増減率
売上高	317,486	327,000	+9,514	+3.0%
売上総利益	68,934	68,500	▲434	▲0.6%
販管費	63,868	62,500	▲1,368	▲2.1%
営業利益	5,065	6,000	+935	+18.5%
経常利益	4,870	5,900	+1,030	+21.1%
当期純利益	1,889	3,100	+1,211	+64.1%

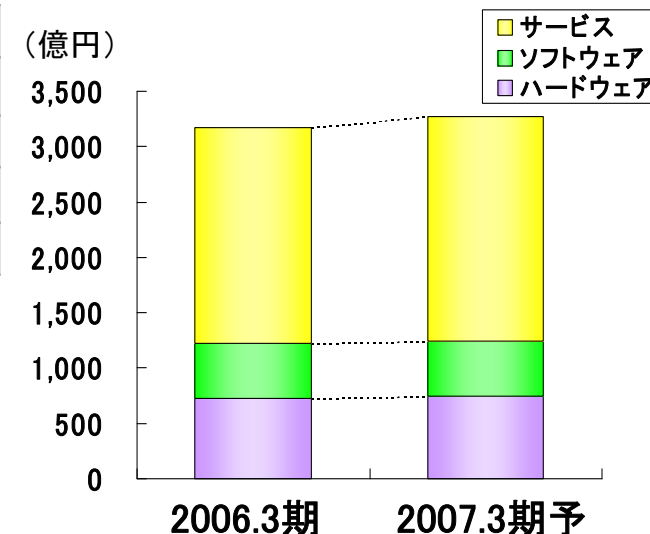
売上区分別 売上高状況

(百万円)

売上区分	2006.3期	2007.3期予	増減額
サービス	195,470	203,000	+7,530
ソフトウェア	49,439	49,000	▲439
ハードウェア	72,576	75,000	+2,424
合計	317,486	327,000	+9,514

- 売上高は、引続きシステムサービスが牽引し、前期比3%増収の見込み
- 利益面に関しては、サービスの利益改善と販管費により、営業利益は前期比18.5%の増加を見込む

売上区分構成



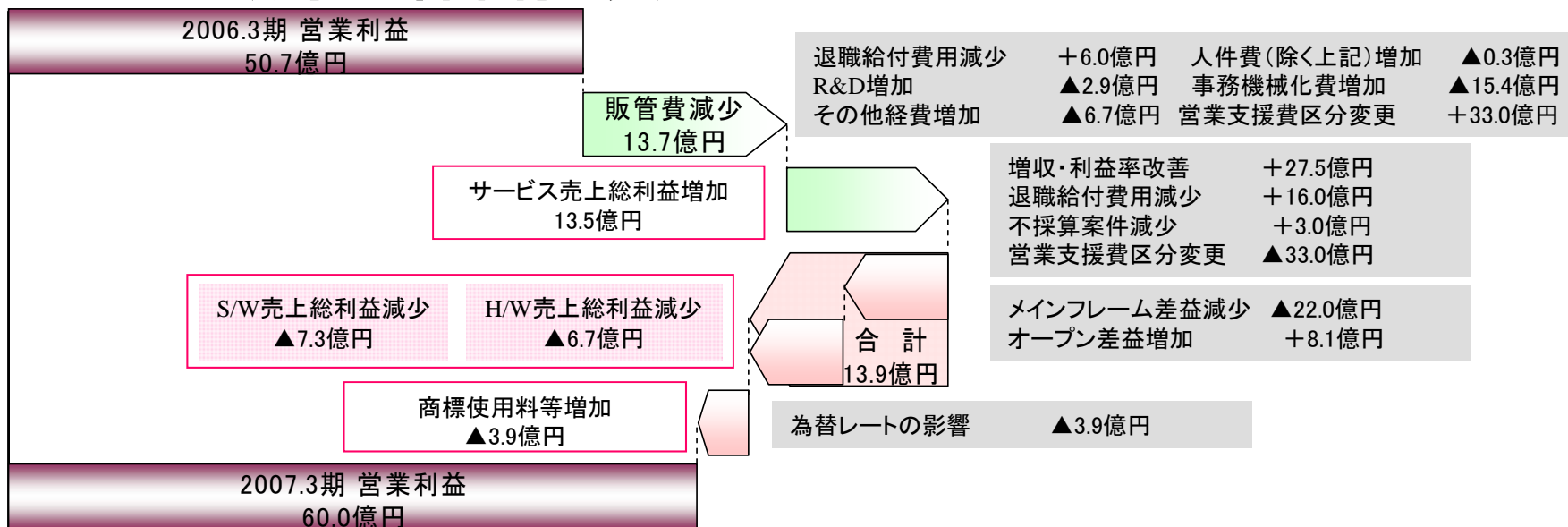
2007年3月期 利益見通し

➤ 売上区分別 売上総利益比較 (商標使用料等外枠ベース)

(百万円)

区 分	2006.3期		2007.3期予		増 減	
	金 額	利 益 率	金 額	利 益 率	金 額	利 益 率
サ ー ビ ス	49,574	25.4%	50,920	25.1%	+1,346	▲0.3pt
ソフトウェア	15,226	30.8%	14,500	29.6%	▲726	▲1.2pt
ハードウェア	18,799	25.9%	18,133	24.2%	▲665	▲1.7pt
商標使用料等	▲14,665		▲15,054		▲388	
合 計	68,934	21.7%	68,500	20.9%	▲434	▲0.8pt

➤ 2007.3期予想 営業利益分解



2007年3月期 中間決算説明会

「成長計画2006-2007」上半期の進捗状況



2006年11月2日
日本ユニシス株式会社
代表取締役社長

靱井 勝人

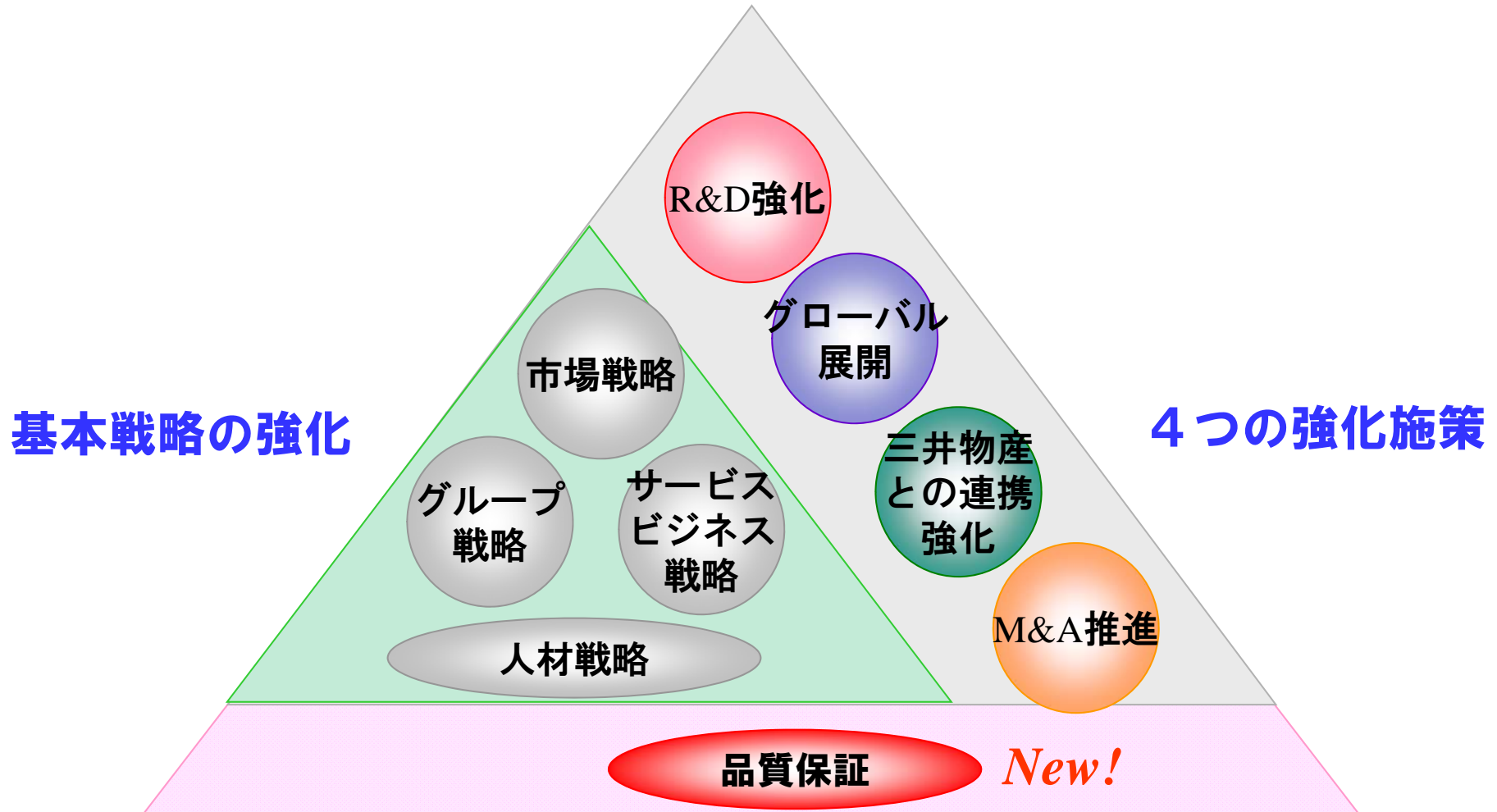
「成長計画2006-2007」の骨子

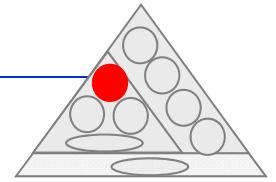
将来ビジョン

売上高 5000 億円

営業利益率 6~7 %

成長 ↗ + 収益性 ↗





「基本戦略の強化」の主な取り組み①

《市場戦略》(金融)

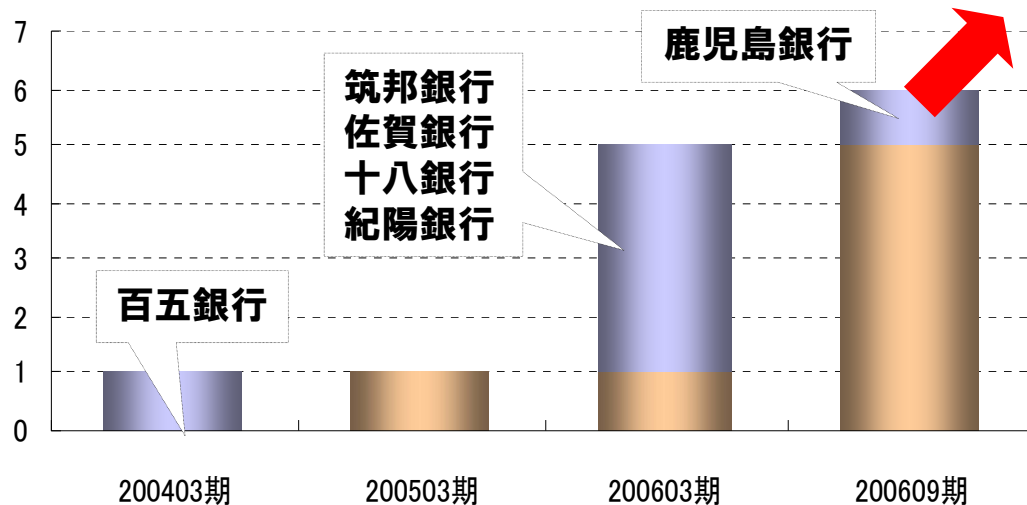
アウトソーシングを新たな長期安定収入軸としたビジネスモデルへ変革

地銀 S-BITS 共同アウトソーシングセンターの推進

日本初Windows®技術の全面採用 共同運用による効率化 MIDMOST®(基盤)による高堅牢性

百五銀行 2008年3月期稼働予定 ⇒ 順調に開発中 (最終テストフェーズ)

【S-BITSへの加盟内定行】

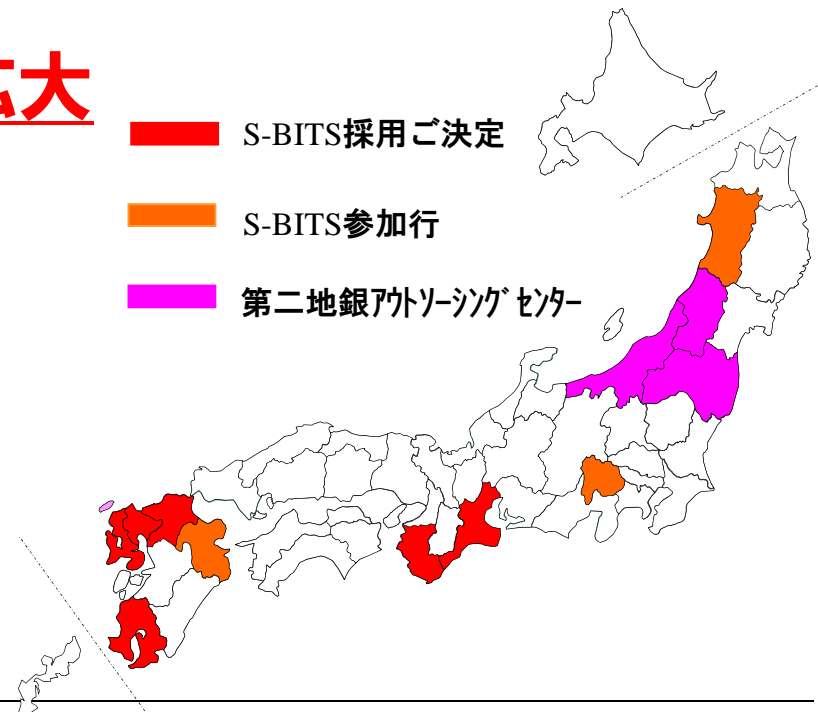


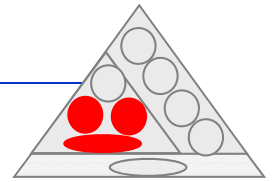
加盟行拡大

■ S-BITS採用ご決定

■ S-BITS参加行

■ 第二地銀アウトソーシングセンター





「基本戦略の強化」の主な取り組み②

成長 ↗

収益性 ↗

《サービスビジネス戦略》

知財活用と生産性向上により、市場競争力と収益力の極大化を目指す

成長に向けた優秀な人材の育成・確保

働きやすい職場環境整備

《人材戦略》

- ✓ グループ育児関連制度の大幅改定
- ✓ 在宅勤務, フリーアドレス等の試行中

プロジェクト管理の徹底

- ✓ 提案前レビューの強化
- ✓ プロジェクト支援体制の強化

《グループ戦略》

三位一体でグループ総合力の最大化を図る

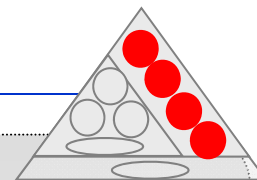
グループ機能明確化

- ✓ 機能別再編

三位一体のさらなる深堀へ

シェアードサービス推進

- ✓ 要員の集約 ⇒ 効率化へ



「4つの強化施策」の主な取り組み

《R&D強化》

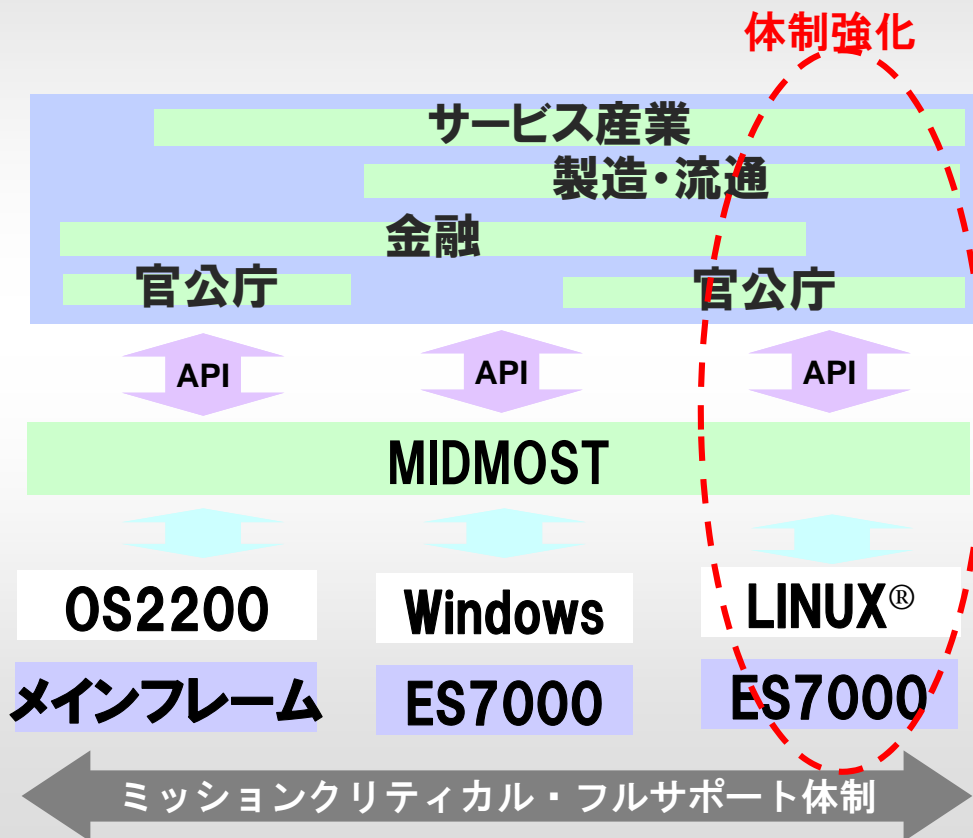
オープン・ミッションクリティカル分野でWindows + Microsoft®.NETに加え、OSS*でも、リーディング・カンパニーを目指す！

(*)OSS(オープンソースソフトウェア)

- OSSでミッションクリティカル・システムを構築
- 米国ユニシスと日本ユニシスグループの技術力を結集
- フルサポート体制を強化

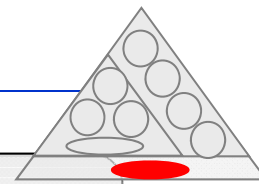
OSS本格体制スタート

- ✓11月 OSSビジネスセンター設立
- ✓OSS技術者の増強
現在 500人 → 2年後 1,500人
(米ユニシス 1,500人 → 2年後 2,500人)
- ✓3年後に売上300億円超を目指す



《グローバル展開》 《三井物産との連携強化》 《M&A推進》
体制を整備し、事業機会発掘に向け推進中

品質保証=安心してまかせられる企業へ



6月「品質保証部」の新設

ハードやソフト単品での品質保証にとどまらず、日本ユニシスグループが
お客さま顧客に提供するサービス、プロダクト全体の品質を
総合的に保証できる体制を目指す

お客さま

品質

品質

品質

品質

品質

日本ユニシスグループが提供するすべてのサービス,プロダクト

日本ユニシス・ソリューション

個別
システム
構築

自社製
業務
ソフトウェア

導入・運用
サービス

アウトソーシング
サービス

ユニアデックス

ハードウェア
保守

ソフトウェア
保守

人材

U&U

Users & Unisys

www.unisys.co.jp

UNISYS